

報道機関 各位

令和3年5月31日
 国立大学法人電気通信大学
 調布市

市庁舎におけるCO₂濃度の「見える化」共同実証実験について ～8 台の IoT 型センサーで市庁舎の CO₂ 濃度を可視化～

国立大学法人 電気通信大学(以下「電通大」と)調布市は、調布市庁舎内の CO₂ 濃度を可視化し、良好な換気状態を維持する実証実験を、産学官連携の取組の一環として共同で実施します。

実施にあたっては、電通大 情報理工学研究科の田中・石垣研究室及びi-パワーエネルギー・システム研究センターの横川研究室が開発した高精度の小型 CO₂ センサー(以下「センサー」)を活用します。



小型 CO₂ センサー



CO₂ 濃度の可視化イメージ(合成写真)

【概要】

市民が多く来庁される調布市庁舎の1～3階にセンサーを設置し、周囲のCO₂濃度を測定し、センサーの色と数値表示により測定値を「見える化」します。測定値が基準値 1,000ppm(注1)を超過した場合は、周辺各課の調布市職員による換気を実施します。

併せて、測定値が基準値を超過した場合は、無線ネットワークを經由してデータを収集している電通大から調布市の担当課へ自動的にメールが送信され、当該情報に基づいて担当者が適切な換気を実施します。

(注1) 基準値 1,000ppm とは、法令で定められている二酸化炭素含有量の基準

【設置機器】

- (1) 小型 CO₂ センサー 8台
- (2) タブレット端末 1台(総合案内のみ)

【設置場所】

- (1) 調布市庁舎 1階 101会議室(マイナンバー第2窓口)
- (2) 調布市庁舎 2階 市民ロビー、総合案内、北側共用通路、南側共用通路
- (3) 調布市庁舎 3階 北側共用通路、西側共用通路、南側共用通路

【運用開始】

6月1日(火)

◆ 本リリースに関するお問い合わせ先

電気通信大学総務企画課広報係

TEL 042-443-5019 MAIL kouhou-k@office.uec.ac.jp

調布市 総務部管財課 岡田・奥山

TEL 042-481-7174